

グループ A の意見（一部抜粋）

- 駅が近い立地を生かし、デッキからの景観も意識したエントランス広場があると良い。
- エントランス広場は、公園の顔となるモニュメントがあると、待ち合わせ場所としても活用できる。
- 北広公園の現状は木が多くて圧迫感がある。
- 特徴的な遊具があると人が集まるのではないか。
- 利用者の休むところとして東屋などを整備してほしい。

・・・等

グループ B の意見（一部抜粋）

- 保育園と遊具エリアをつなげる、駐車場とイベント広場を近づけるとゾーニングが良くなる。
- 駐車場は、無料としてしまうとボールパーク来場者が独占し、本来の公園利用者が使えなくなる恐れがあることから、何らかの工夫が必要である。
- 夏場に休むことができる木陰、東屋が必要である。
- 公園は整備して終わりではなく、維持管理も重要である。市で管理するのは限界があることから、民間委託を行って、イベント収益をあげながら、その費用で維持管理をしていくような仕組みも重要である。
- 高齢者の方が使いやすい公園づくりも重要である。・・・等

グループCの意見（一部抜粋）

- 多世代の人が利用できるようにすることが重要である。
- 東屋や休憩できる場所を配置してほしい。
- 市民ボランティアを募って、花壇を維持管理していくなど、市民と一緒に公園を作っていく仕組みも、愛着を醸成することに繋がる。
- 子どもにとって遊具は非常に需要で、シンボリックな遊具もあると尚良い。
- 駐車場は公園を利用したい人が使える仕組みが重要。例えば、普段は車止めをしていて、申請が必要な仕組みにするなどが考えられる。・・・等

グループDの意見（一部抜粋）

- 意見が分かれたのが、樹木を伐採することである。開けた明るい公園にするためには、一定程度樹木を伐採することが必要との意見や樹木を残して木陰をつくることは重要であるとの意見があった。
- 芝生エリア、ベンチ、東屋など誰もが自由に休める空間が必要。
- 市民が参加できる活動も重要で、住民参加型の公園とするべき。例えば、市民で花を植える活動を取り入れるなどが考えられる。
- 土手はもう少し低くして、多目的広場との連坦性を持たせてほしい。
- エントランス広場は、シンボルとなるモニュメント等があると、待ち合わせ場所としても利用できる。・・・等

グループEの意見（一部抜粋）

- 子育て世代に利用してもらうためには、遊具が必要である。
- 多世代の利用を意識した整備が重要である。
- 明るい公園を作るためには、樹木を伐採することは必要である。
- 土手は、子ども達の冬のスキー利用などもあり、夏場だけでなく、冬場の利用も意識した整備にしてほしい。
- 駐輪場は、今後の利用を考えると設置する必要がある。
- バリアフリーを意識した整備を行ってほしい。
- 災害時も見据えた整備を行ってほしい。 . . . 等